



ちば「炎の仲間」

発行
 公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
 https://www.chibalpg.or.jp
 毎月10日は保安の日

令和4年度 第1回定例支部長会を開催！！

去る9月16日(金)午後2時より、公益社団法人千葉県LPガス協会第1回定例支部長会を、会場とWEBの併用にて開催しました。同会は片岡副会長の開会の辞で幕を開け、5月第1回理事会及び第1回定時社員総会で承認された令和4年度事業の進捗状況と各種調査事項の報告がされ、新規事業である見回り見守り事業に係る審議が行われ、鶴岡業務執行理事の閉会の辞で幕を閉じました。議題及び会議内容は、以下のとおりです。

議題1 支部交付金報告及び各支部保安啓発等報告依頼について (報告・依頼事項)

支部交付金及び経理方法変更の説明後、保安等啓発報告は、**令和5年1月31日(火)迄**の報告を各支部長に依頼する。

議題2 当協会の販売登録申請の進捗状況について (報告事項)

令和2年定時社員総会にて、決議された販売登録は、9月7日に県産業保安課に申請した旨の報告をした。
 これは、平成11年3月31日に千葉県との間で締結された「災害時における応急生活物資等の供給に関する協定書」を運用するためであり、仮設住宅等及び炊き出し時を想定したものです。
 なお、このような内容の協定は、県内54市町村とも締結しているものであり、当協会の法人格の変更に伴い県との協定も含め再締結の運びとなりますので、内容については、これからの検討事項となっています。

議題3 令和4年度新規啓発事業 (①イベント、②見回り見守り) について (報告・審議事項)

- ① イベント事業は、千葉・船橋・市川の3支部が合同し、次の内容で実施することが報告された。
日時：10月30日(日) 10時から16時
場所：イオンモール幕張新都心豊砂公園
タイトル：LPガスフェア2022
 ～街と暮らしに『いいね!』を届ける～
 ※ 多くの会員の方々のご参加をお待ちしています。
 ※ なお、スタッフを募集していますので、事務局までお申し込みください。
 ※ また、イベント研修として10月14日(金)と15日(土)の両日、東京ビッグサイト東館7・8会場で開催される「**みらい市**」に出展しますので、ご来訪をお願いすると共に、スタッフを募集していますので、ご協力いただける方は事務局までお申出下さい。
- ② 見回り見守り事業では、一般の方々への周知用に車両へのマグネット性貼付掲示物を各正会員1枚を無料配布することとしました。

議題4 県受託事業 (①啓発チラシ配布・②実態調査) について (依頼事項)

本年度の標記事業は、令和3年6月の液石法規則及び機能性基準の運用一部改正に伴う、**ベルト等の二重掛け実態調査及び同設置促進パンフレット配布**です。ご理解とご協力をお願いします。

議題5 県立高等学校等のLPガス供給・消費設備老朽化対策事業の進捗状況等について (報告事項)

会報第243号第2面にてお知らせした要望に、県では早速、緊急性の高い設備に対して対応して頂きました。
 今後の対策について、県との交渉の中で、次の内容で進捗していることをご報告する共に、支部長各位には、各市町村の設備についてもご検討いただくことを期待しています。
 1 基本料金がメーター毎に設定される予定です。
 2 設備の所有は、容器以外は、県所有となる予定です。
 3 各機器及び設備は、期限管理が行われる予定です。
 4 図面の引継が行われる予定です。
なお、これらの内容については、確定次第、説明会を開催する予定です。

議題6 その他 (報告事項)

- ① **第3回総務委員会(8/27)報告**
 千葉県高圧ガス保安大会協会会長表彰の4優良事業所及び4優良従業員が決定した旨の、報告があった。
- ② **安全機器等調査結果報告**
 提出率は、99.9%でした。
- ③ **令和4年度県指定保安講習会実施報告**
 参加者は、978名、前年度比31名増でした。
- ④ **自主保安活動チェックシート集計結果報告**
 提出率は、100%でした。
- ⑤ **情報収集訓練提出状況報告**
 2日迄の提出率は81.2%、100%を目指して下さい。
 災害は、何時来るか解りません。
- ⑥ **その他**
 中退共(退職金制度)及び全共済(生命共済制度)の周知依頼が各々の当該事務局からありましたので、10月1日付の発送物に同封することとなりました。

新執行部 紹介！！

6月8日に開催された第1回定時社員総会後の第2回理事会において承認された、新執行部を紹介いたします。

役職名	氏名	事業所名	役職名	氏名	事業所名	
代表理事	会長	小倉 晴夫	東洋液化ガス㈱	業務執行理事	石井 誠一	アイエスジー㈱
	副会長	鶴沢 宣広	八日市場瓦斯㈱		安野 晃造	㈱山岩安野商会
業務執行理事	副会長	片岡 勝美	㈱松伊燃料店		高木 秀夫	八街ガス㈱
		池田 愛一郎	㈱池田商店		小沢 正順	㈱小沢商店
		秋元 利文	㈱秋元商店		鶴岡 秀男	㈱うの丸住設
		木内 正義	弥六商店㈱			
		中野 賢一	ミライフ㈱千葉支店			
		藤森 和弘	(公社) 千葉県LPガス協会			

業界最新情報は協会ホームページから！

お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室



本県の液化石油ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等の一部改正について（キャンピングカー等に係る30分ルール of 代替措置）

「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」において、保安業務を行う保安機関に対し、保安確保の観点から、緊急時対応として、保安業務に係る一般消費者等の供給設備及び消費設備には原則として30分以内に到着し、所要の措置を行うことができる体制を確保することが求められています（以下「30分ルール」という。）。

令和4年7月15日に保安業務に係る技術的能力の基準等の細目を定める告示等が公布・施行され、質量販売により販売されたLPガスを、キャンピングカー、キッチンカー等の屋外において移動して使用される消費設備により消費する一般消費者等の消費設備については、ガス安全に係る一定の知識や技量に関する講習を修了した上で、緊急時に必要な措置を自ら行うことについてLPガスの販売契約を締結したLPガス販売事業者の確認を受けるという代替措置を取る場合に限り、30分ルールの対象から除かれることとなりました。

また、この代替措置により質量販売を行った際には、受講修了証のコピー、緊急時において自ら所要の措置を行うことについて確認を受けた者の署名等された控えを他の帳簿と同様に保管するようにしてください。

なお、従来通りの30分以内で使用する場合について、新たに講習の修了等を義務付けたものではありません。

詳細については、経済産業省のホームページをご確認ください。

◆経済産業省のホームページのURL：

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2022/07/20220715.html

LPガス販売店及び保安機関の皆さまへお願い

先般、県民の方から「プロパンガスの点検時には身分証明書（免状）を提示していただきたい。」と要望がありました。

各販売店及び保安機関の皆さまには、各種点検等作業時において、身分証等を携帯し求めに応じて提示できるよう御対応されていることと思います。

特に消費設備調査で消費者宅を訪問する際には、消費者に不安を抱かせることのないよう、対応には十分配慮して下さるようお願いいたします。

『令和4年度第6回LPガス等合同防災訓練 【中核充填所稼働訓練】』実施

当協会中核充填所委員会では、令和4年9月8日（木）「アイエスジー(株)八街配送センター」において「第6回LPガス等合同防災訓練（中核充填所稼働訓練）」を実施し、秋本真利衆議院議員、千葉県防災危機管理部産業保安課、八街市総務部防災課の方々をはじめ、来賓、訓練参加者並びに見学者の合計44名が参加しました。

今回の訓練では、千葉県内に大型台風が通過することによる大規模停電が発生し、被災地を八街市と想定して、中核充填所のアイエスジー(株)八街配送センター独自の防災訓練及び中核充填所稼働訓練を実施しました。

訓練項目は、①充填所の安全確認訓練、②衛星携帯電話通信訓練、③非常用自家発電設備稼働訓練、④機器作動確認訓練、⑤共通バーコード読み取りによるLPガス容器への充填訓練（鋼製容器及びFRP容器）、⑥LPガス自動車への充填訓練、そして、⑦FRP容器移送並びに小型発電機稼働訓練を行いました。訓練後には、希望者に向けて容器検査場の見学会も実施しました。

また、訓練参加者に、災害時に役立つ「アルファ米」と「レトルトカレー」を配布しました。

この訓練を継続して実施することにより、千葉県内のLPガス販売事業者と関係行政機関等との連携強化を図り、災害時にも迅速な対応ができる体制整備を行って参ります。訓練実施者の皆様、本当にお疲れ様でした。

なお、来年度は、(株)エネサンス関東柏事業所にて開催予定です。



【秋本真利衆議院議員】



【大竹悦司県産業保安課長】



【容器へ充填中！】



【LPガス自動車への充填！】



【FRP容器・小型発電機】

ロードマップセミナー開催！！

当協会では、令和4年9月13日(火)にロードマップセミナーをオークラ千葉ホテル(千葉市中央区中央港1-13-3)にて開催しました。講師は㈱日本経営合理化協会事業団理事長の牟田太陽氏であり、「新規事業の開発～コロナ後の対応、業界転換等を交えて～」がテーマでした。

講演冒頭では自社の経営不振を「自社の企業規模が小さいから」と言い訳にせず、自分の会社や業界に自信を持つことが大切であり、小規模なガス会社が数多くある我々LPガス業界だからこそ痛烈に響く内容で始まりました。



【講師：牟田 太陽 様】

コロナ禍・不況のこれからを乗り越えていくためには、今までの社長としての価値観を改め、自ら行動を起こすことが大切である。そのためには社長こそが情報収集を行い、時流に合った最新の販売方法を模索し続けなければならない、と言われました。中でも「社長としての行動は大胆かつ緻密であるべきである。」と言われる。営業行為がしにくいコロナ禍の現状だからこそ必要になって

くる考えであると感じました。

企業経営で失敗する要因についても言及があり、その中でも「顧客志向ではない。」という言葉が強く印象に残りました。目先の利益のために会社として大事にしてきた信念を曲げることは、長期的に見てマイナスになる結果でしかないという内容であり、お客様との信頼関係が重要な我々の業界だからこそこの言葉を深く受け止めなければならないと感じました。

今成功を収めている好調会社には主に3つの共通する戦略があるという話となり、①「事業の多角化」、②「売り方を複合化」、③「哲学理念思想の徹底」を挙げられました。①はリスクを分散し、②は売り方のワンパターン化を避け、③は「商品開発のエピソード」等を売りにして商品に付加価値をつけるというものです。これらは、我々の業界でも使える戦略であると感じました。

今回の講演は、我々LPガス業界においてもとても参考になるものでした。社長業や社員の育成、若手社員の定着などのお話しは、コロナ禍だからこそ苦戦する問題に対して答えを見つける良い機会となる講演でした。

社長とは、未来志向で考えていくことが重要であると強く感じました。

記 協会事務局

経済産業省 関東東北産業保安監督部長表彰 受賞！！

令和4年7月29日(金)に関東高压ガス保安団体連合会主催、経済産業省関東東北産業保安監督部後援による第37回関東高压ガス保安大会が東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島1-7-5)で開催されました。

当日は午後1時30分から経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰と、関東高压ガス保安団体連合会会長表彰が行われ、午後3時30分より奥村直樹氏(科学技術振興機構 未来社会創造事業 研究開発運営会議委員他)から、「社会へ溶け込む宇宙開発」との演題で講演が催され、盛大裏に大会は終了しました。

当協会からは、経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰の保安功労者として鶴沢宜広氏(八日市場瓦斯(株):海匠支部)が、関東高压ガス保安団体連合会会長表彰の優良販売業者として鈴木油店(長夷支部)が、受賞されました。

受賞誠にありがとうございます。



八日市場瓦斯(株)
【鶴沢 宜広 氏】



鈴木油店
【鈴木 良昭 氏】

第43回九都県市合同防災訓練(千葉市会場)実施

第43回九都県市合同防災訓練(千葉市会場)が、9月1日(木)に千葉市蘇我スポーツ公園(千葉市中央区川崎町1-20)で行われました。今回の千葉市会場は九都県市合同防災訓練を代表するメイン会場であり、岸田文雄内閣総理大臣が参加する訓練となりました。

同訓練は、首都圏に大きな被害をもたらすことが予想される地震への対策を図る必要があるとし、「自助」・「共助」・「公助」の理念のもと、市民、防災関係機関及び市が緊密な連携をとり、実践的な総合防災訓練を実施することにより、本市の災害対応能力の向上及び防災対策の充実強化を図るとともに、市民の防災・減災に関する意識の高揚及び知識の向上を図ることを目的として実施されました。

当協会千葉支部は、展示・体験コーナーに参加しました。協会ブースでは、当協会が普及を推進している「FRP容器」の展示や、LPガス発電機を駆動して、発電した電気により扇風機が動く様子を展示し、災害時のガスの利便性を実感いただきました。

千葉支部の皆様には暑い中大変御尽力いただき、誠にありがとうございました。



【左から、石川氏、武田支部長、小倉会長、並木氏、高橋氏】

受け継がれる祭礼

印旛支部長 北詰 栄一

私が住んでいる「佐倉」は北総台地の中心に位置します。佐倉城の城下町として歴史を積み上げてきたこの街には江戸時代から300年以上受け継がれている祭礼があります。

江戸時代、佐倉城築城と共に東（弥勒町）へ通ずる1本の道を作り、道の両側に新しい城下町「新町六町（横町、上町、二番町、仲町、肴町、間之町）」を造成しました。そして新町六町と弥勒町は山車（だし）や屋台を作り、引き回しをおこない、多くの人々で賑わったとの記述が残っています。

明治時代になっても佐倉には陸軍が駐屯するなど発展は続き、新町六町は江戸日本橋方面より、江戸型山車や山車人形を買い揃え、神社大御輿の渡御とあわせ、その「練り歩き」の華やかさは「佐倉新町江戸まさり」という言葉で表された程でした。

その後、昭和初期にかけて、新町六町以外の町会も御神酒所（踊り屋台）を購入し、御神輿、山車、御神酒所（おみきしょ）が盛大に練り歩くようになりました。

高度成長期、佐倉の祭礼は一時衰退しましたが、平成5年に「佐倉の秋祭り実行委員会」が発足され、現在は佐倉市内20町会による祭礼が新町通りを中心に、10月第2金、土、日曜日の3日間行われております。

江戸時代より脈々と続けられている佐倉の祭礼ですが、ここ2年は「コロナ」で、その前年は「台風」でと3年連続で中止が続いていました。そんな中、今年5月に祭礼委員長会議が、6月には総会が開かれ、国が「緊急事態宣言」を出さない限り、期間や



時間短縮等の制限を設け、ポスター等は作らず周知しないが「お祭りを知らない子供達」や「地域の伝統文化の継承」の為に、祭礼を行うことが決定されました。

実は私、新町六町「仲町」で祭礼委員長を任されております。この決定を受け、7月31日に町内会議を催し皆さんのご意見を伺ったところ、反対意見も出ましたが「祭りを知らない子供たちの為に練り歩きたい」と言う意見が大勢をしめ「祭礼」を行うことを決定しました。

仲町は、コロナ対策として①引き回しは神酒所のみとし、山車、町内神輿は引き回さない ②チェックシート、参加同意書の発行、回収 ③参加者の検温、マスク着用、消毒の徹底 ④運行時間の短縮 等対策を練りましたが、祭りを知らない子供達や未来の為に3年ぶりに頑張りたいと思っています。

来年は「コロナ」も落ち着き 良い年でありますように 🍡

令和4年度 自主保安活動チェックシート 報告

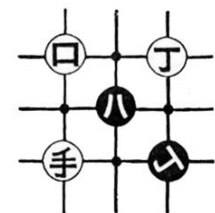
例年、会員の皆様方にご協力いただいております自主保安活動チェックシートについて、今年度の集計が終了いたしましたので、得点状況を右記の通りご報告いたします。

本年の対象事業所数は689件であり、提出率は100%という素晴らしい結果となりました。合計点の平均につきましては64.9点という結果となります。昨年度の平均点は65.7点であり、ほぼ横ばいとなる集計結果になります。

会員の皆様方には自主保安活動チェックシートの提出にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

この自主保安活動チェックシートの提出を機に、会員の皆様方の保安レベルの見直し・向上を図っていただければ幸いです。

点数	件数	比率
100~91	11	1.6%
90~81	53	7.7%
80~71	198	28.7%
70~61	204	29.6%
60~51	138	20.0%
50~41	54	7.8%
40~31	17	2.5%
30~21	6	0.9%
20~11	3	0.4%
10~0	5	0.7%
合計	689	100.0%



大学生の庭田杏珠（にわたあんじゅ）さんは、高校時代に「ヒロシマ・アーカイブ」という原爆の証言収録

に取り組む東大教授の渡邊さんのプロジェクトへ参加しました。庭田さんは、平和公園で偶然会った、原爆によって家族全員を失ってしまった濱井徳三さんに、聞き取り調査をしました。濱井さんのア

ルバムにあった家族の白黒写真がカラー化されると、「家族がまだ本当に生きているみたいだ。」ととても喜んでくれました。庭田さんは、写真のカラー化は自分ごととして想像しやすく、興味を持ってもらえると確信しました。こうして、渡邊教授との「記憶の解凍」という共同プロジェクトが始まりました。AIで自動色付けしたあと、戦争体験者との対話や資料をもとに手作業で色補正していきます。この作業の集大成、『AIとカ

ラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』（光文社新書）は、戦争がテーマの写真集としては異例のベストセラーとなりました。

モノクロのカラー化によって、昔の懐かしい記憶が次々と鮮明によみがえるのはすばらしいことですが、私としては、自分の過去についてはぼんやりと白黒のままにしておきたいことの方が多いような気がします。

記 高木 秀夫

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！